



挨拶ができる子に

「カッ、カッ、カッ」「ザー」毎朝、高学年の子供たちが玄関先の除雪をしてくれています。たいへんありがたいことで、この姿は下の学年の子供たちにも引き継がれていくものと思います。それにしても、今年の冬は、どうしてこんなに雪が降るのでしょうか。保護者の皆さんにおかれましても、毎日の除雪、たいへんであるとお察しいたします。少し前の話になりますが、呉西の平野部を中心に大雪が降り、公共交通機関が麻痺した日がありました。その影響は、登校だけでなく下校にも及び、学校としても、下校の安全を考え、教員が分担して見回りをしました。



さて、ここからが本題です。私は、1年生に付き添い、大学前のバス停まで送っていきました。大学前のバス停まで1年生を送るのは、入学当初以来でしょうか。そのころの1年生の姿を思い出してみますと、あっちへ行ったりこっちへ行ったり、「今日、どこのバス停で降りたらいいか分からない」と泣き出したり、……。毎年のことながら、それはもうたいへんでした。それが入学から10ヶ月経った今、子供たちは、私が指示をしなくても落ち着いて歩いているではありませんか。さらに、道路周辺の住民が除雪をしておられるのを見て、「こんにちは」と挨拶をしているのにも感心しました。住民の方も「こんにちは、雪が多いから気を付けて。」と、自然に返しておられることから、今日だけでなく、日常、挨拶を交わしているのだなと感じ、たいへんうれしく思いました。「たかが挨拶、されど挨拶。」挨拶は、人と人を結ぶ大切な行為であると思います。

今年度もあと1ヶ月となりました。卒業、そして、進級に向けてラストスパートするとともに、今一度、挨拶ができる子供になるよう、教職員が一丸となって指導していきたいと思えます。

学校行事に関するアンケートについて

アンケートへのご協力、ありがとうございました。「集計結果」と「記述欄にありました主な意見」について、お知らせします。

① 6年「立山登山」について

- ・できれば続けてほしい。・・・168名（45.3%）

- ・どちらでもよい。学校に任せる。・・・135名（36.4%）
- ・やめることも仕方がない。・・・68名（18.3%）

- ・富山県民として、他県に誇れる行事なので、残してほしい。
- ・悪天候で登頂できなくても、友達と室堂を散策した思い出は、一生のものになる。
- ・登山だけが目的でなく、体力づくりをしたり、仲間と一緒に頑張ろうとする気持ちを育んだりするよい機会だと思う
- ・子供が楽しみにしている。貴重な体験なので続けてほしい。
- ・時期と引率者の数を見直してほしい。 ・日帰りにする。
- ・保護者として協力できることは、何なりと言ってほしい。
- ・修学旅行より立山登山を優先してほしい。 ・修学旅行を重視してほしい。
- ・登山は家族でも行っているの、無理に学校から行かなくてもよいと思う。
- ・立山は国内有数の高山で、大人数で登る山ではないので、なくすことに賛成。
- ・予測できない噴火の可能性をどう考えるか。学校行事として行う必要は無い。

② 高学年「テキスト学習」について

- ・できれば続けてほしい。・・・203名（54.9%）
- ・どちらでもよい。学校に任せる。・・・138名（37.3%）
- ・やめることも仕方がない。・・・29名（7.8%）

- ・先生方の負担はよく分かるが、進学に対し、学習の習慣化、基礎学力の底上げという意味で負担を軽減しつつ続けてほしい。ある程度の年齢までは、塾に通わせたくない。
- ・学校（先生）を信じ任せていたら、塾に行かずとも、中学で十分通用する学力が付き、安心できた。
- ・中学校に入っても、周りと同じ肩を並べて勉強できるのは先生方の努力と感謝している。ぜひ続けてほしい。
- ・授業だけで進学すると、落ちこぼれないか心配。
- ・毎年、同じテストでよいと思うし、丸付けは子供が自分でやるのでよい。
- ・テストや確認をせず、テキストの選定だけにする。
- ・日々の確認は、保護者に任せる。
- ・廃止の場合、使っていたテキストの情報（書名、出版社等）がほしい。学習のたしかめとして、家庭で自由に使うことができれば廃止してもよい。
- ・テキストは希望者が購入すればよい。・家庭学習の妨げになるので必要ない。
- ・子供それぞれに学ぶペースがあるので希望式にした方がよい。上の子のときに、学力を伸ばすことなく、負担で、何も考えずに問題を解くという作業になっていた。
- ・子供に負担で、通常の授業の復習の時間が減っているように思う。やめてよい。

③ ココセコムについて

- ・できれば続けてほしい。・・・48名（12.9%）
- ・どちらでもよい。学校に任せる。・・・171名（46.1%）
- ・やめることも仕方がない。・・・152名（41.0%）

- ・入学以来、一度も使ったことがない。
- ・学校の負担になっている。キッズ携帯の方が有効で安心できる。
- ・震災、台風、降雪等、通学上の不安のため、携帯電話の所持を積極的に認めてほしい。
- ・保護者責任で、キッズ携帯等の使用を許可してほしい。その場合、詳細なきまりが必要。
- ・学校に着いたら電源をOFFにして、ボックスに入れるというふうにしてほしい。
- ・学校判断でよいが、基本的に子供に携帯やスマホを持たせることには賛成できない。
- ・友達がキッズ携帯等を持っていると持ちたくなる子が増えると思う。防犯ベルでよい。
- ・携帯に関しては、学校として禁止を貫いてほしい。

④ 少年団活動の運営方法について

- ・できれば続けてほしい。・・・81名（22.0%）
- ・どちらでもよい。学校に任せる。・・・211名（57.3%）
- ・やめることも仕方ない。・・・76名（20.7%）

- ・子供たちの心と体の成長のためにも継続してほしい。
- ・公立と違い、放課後に集まって遊ぶ機会が無いので、負担を軽減して続けてほしい。
- ・土日や校外での練習をあまり行わないなど、無理のない範囲で続けてほしい。
- ・学校の名前、施設は、今まで通り使用し、先生方は担当しなくてよいと思う。
- ・練習量、費用、親の協力等、負担がとても多く、小学校レベルの内容でない。
- ・学校側の負担を軽減させる検討をしてもらいたい。
- ・クラブチーム化するのも一つではないか。先生同様、保護者にとっても負担が大きい。
- ・一部の子供のために、相当額の後援会費が支出されている。後援会費は全校に役立つことに使ってほしい。

本当に貴重なご意見、ありがとうございました。これまでどの項目にも賛否両論が有ることは耳に入っていました。アンケートを採って、その割合が分かりました。立山登山やテキスト学習については、ほぼ半数の保護者「できれば続けてほしい」と考えているようです。今後、ふたば会執行部や保護者の皆さんと、時間をかけて相談させていただき、子供の成長のためを考えて決断していきたいと思えます。本校の教員も多少の負担は覚悟して、附属に勤務しておりますので、皆さんの期待に応えられるように努めます。

また、記述欄には、「先生方がよい授業をするための時間に使い、休みもしっかりとってほしい」「先生方の負担を考えると、こういう取捨選択も必要である」「学級通信の頻度を低くしてもよい」「保護者として協力するので、何でも言ってください」というありがたい意見がたくさんあり、教職員一同喜んでいきます。

「学校運営に関するアンケート」についても、集計をまとめ、職員会議で検討が終わり次第、お知らせします。

（副校長 曲 師 政 隆）